

FACULTY OF LAW



- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 現代社会学部
- 国際関係学部
- 外国語学部
- 文化学部
- 理学部
- 情報理工学部
- 生命科学部
- アントレプレナーシップ学環

法学部事務室

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL.075-705-1458
<https://www.kyoto-su.ac.jp/>



公式LINE
@k.s.u



法学部 Instagram
@ksu-hougaku



法学部 YouTube
@ksu-law



京都産業大学
Webサイト

※本誌に登場する人物のプロフィールや教育内容、施設などの情報は取材時のものであり変更になる場合があります。

ABOUT

Faculty of Law

法の力で
未来を動かす
アクティブ型法学部

京都産業大学法学部の大きな特長は、行動力・実践力です。一般的に「法学部」というと、弁護士を目指してひたすら法律について勉強するというイメージがあるのではないのでしょうか。しかし、本学の法学部は、フィールドワークや企業とのコラボレーションを積極的に学びに取り入れており、行動力のある学生の育成を目指しています。法律学科と法政策学科の2つの学科には特色のある4つのコースがあり、法律についてはもちろん、政策、政治に関する幅広い分野が学べることも、本学部の特長です。コンプライアンスの問題や知的財産の権利など、現代社会では法律の知識を必要とされるケースが多く、正しい判断に基づいて弁護士などと連携し、適切な対応が取れる人材が求められています。日常生活に目を向けると、SDGsに掲げられているように、身近なものから地球規模で考えるべきものまで、社会はさまざまな問題を抱えています。私たちは、広く多様な視点から一つ一つの問題を見つめ、より良い社会を実現するための解決策を見いださなければなりません。本学部で身に付ける幅広い知識や多角的な視点、行動を通して培われる主体性やリーダーシップ、協働力を発揮して、時代と社会に貢献できる人に成長してください。

詳細はWebへ



法学部

└ 法律学科

法学の専門領域だけでなく、政治学、政策学など幅広く学びます。3つのコースがあり、多角的な視点と筋道立てて物事を考えるリーガルマインドを身に付けた卒業生は、法曹界だけでなく、多種多様なビジネスの世界や社会安全に関わる業種などで活躍しています。

法律総合コース

NEW 企業・ビジネスコース

社会安全コース

└ 法政策学科

地方公務員など地域を支えたい学生が、地域のさまざまな課題、その解決策、政策の影響などについて学んでいます。扱う課題の範囲はSDGsに示されている17の目標を網羅するほど広く、フィールドワークや外部のさまざまな組織などとの連携も積極的に行います。

地域公共コース

MAP of Keywords

Pick Up

AIと法規制

AIやロボット、自動運転、医療技術など、テクノロジーの進展に伴い、新たなルールが求められています。

サイバー犯罪

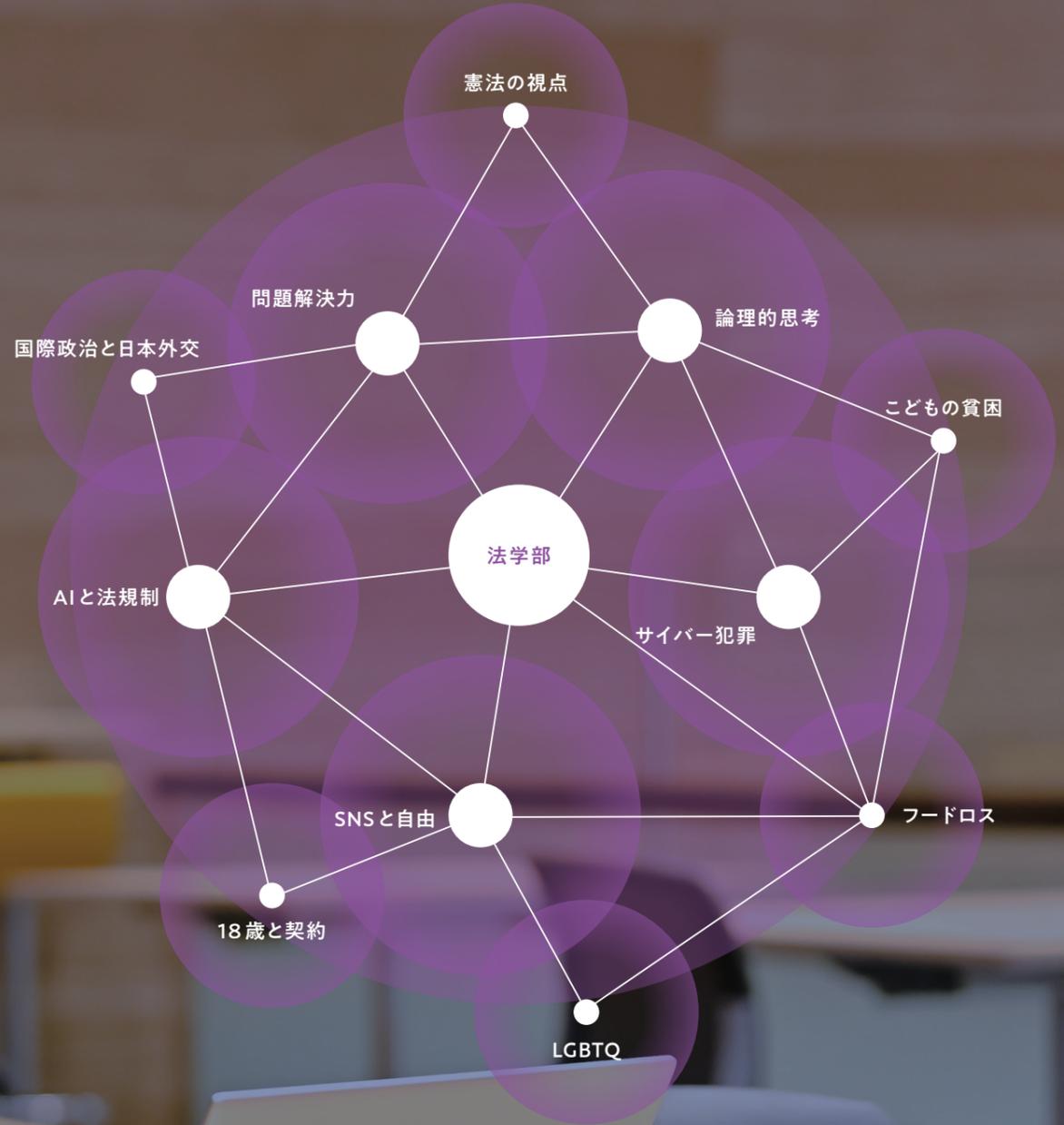
インターネットを利用した不正アクセスや詐欺、個人情報の抜き取りなどの犯罪行為が問題視されています。

LGBTQ

性的指向や性自認が多数派と異なる人たちの権利を認め、法の下での平等を実現するための対策が必要です。

18歳と契約

成人年齢が18歳に引き下げられ、商品やサービスの売買、労働契約などに伴うトラブルが懸念されています。



多彩なキーワードが示す、法学部の学びの地図。多様な知識をむすび、新たな価値をうみだす学びは、あなたの可能性を広げ、未来への扉を開きます。さあ、ここから探究の旅に出かけましょう。



Feature-1

多様な進路を可能にするコース制。 企業・ビジネスコース誕生！

一人一人の学生が、自身の進路目標に合わせて学べる4つのコースを設定しています。新たに誕生した「企業・ビジネスコース」では、企業関係者などゲスト講師を迎えた授業をはじめ、ビジネスシーンに関わる法学について学びます。

Feature-2

学びを社会へ！ 共創型リーダーシッププログラムで 新リーダー育成

主体性、協調性、リーダーシップという、社会が求める力を育む実践型プログラムです。SA(スチューデント・アシスタント)として下級生の学びをサポートし、京都府庁や地元企業での職業体験、活躍する卒業生との交流を通じて、主体的に行動する力を身に付けます。

法科大学院への進学や裁判所事務官などの国家公務員、県庁・市役所などの地方公務員など、進路が明確な学生に対し、手厚いサポートを提供しています。法的な思考を論理的に文章化するリーガルライティング、政策課題についてディスカッションし、レポートを作成する公務公共政策演習などを通じ、法科大学院、国家公務員、地方公務員とも受験者・合格者が増えています。

Feature-3

充実したプログラムで 法律専門職や公務員志望者を支援



Feature-4

成長と挑戦！ 学びを深める 多彩なゼミナール



幅広いフィールドでそれぞれの専門領域を持つ教員が、さまざまな少人数制のゼミナールを開講しています。民法や刑法についての討論会やコンテストへの出場、余った食品を集めて必要としている団体や個人に寄付するフードドライブの実施など、アクティブな学びが特長です。

法律学科

詳細はWebへ



DEPARTMENT OF LAW

バランスのとれた法的解決力につながる学び

法律学・政治学の分野を幅広く学びます。特にゼミナールなどの少人数授業では、実践の場で法を使いこなす力を身に付け、社会のさまざまな問題に対して公正な手続きで解決を図る力を養います。

POINT 学科のポイント

Point 01 進路を見据えた3つのコースに分かれ、専門の学びを深める

2年次からは学生が関心のある分野を学ぶ、3つのコースを用意。将来の進路を見据えた、より専門的かつ実践的な学びを深めます。

法律総合コース

憲法、民法、刑法をはじめ、商法、行政法、労働法、社会保障法など、社会や生活に直結する法律を幅広く学修します。法律とその考え方を通して、社会における法の働きを理解し、法的判断力の修得を目指します。



NEW 企業・ビジネスコース

法学の学修を通して、課題を見つける力や論理的な思考力を鍛え、ビジネスシーンでの優れたパフォーマンス発揮を目指します。知的財産の管理、企業のコンプライアンスなど、実践的な問題についても深く学びます。



社会安全コース

警察、検察、裁判・矯正・更生の各段階に分け、犯罪者の逮捕から社会復帰、再犯予防まで一連の刑事司法の流れを体系的に学びます。「安全」を実現していく仕事に必要な、法的・政策的実践力を養います。



Point 02 特色ある科目

ダイバーシティと法

ジェンダー、セクシュアリティ、人種・民族、障害、年齢、宗教、社会的階層など、多様な背景を持つ人々が直面する法的課題について学びます。

警察学

警察と社会の関係を政治学・歴史学・社会学的に解明。多領域にわたる警察活動の歴史的意味合いと今日的意味合いを考察します。

消費者法

消費者の問題とそれに関わる法律の基本を理解。豊かで安心・安全な消費生活を送るための法律や消費者の関与の在り方を考えます。

少年法

少年院長であった教授によるエッジの効いた講義で、成人年齢の引き下げや少年の実名報道問題など、生きた少年法を学びます。

Pick Up

法学入門セミナー

2年次以降に始まる専門的な科目の土台づくりとして、1年次秋学期に受講する少人数制授業です。レポートの書き方やロジカルシンキングの基礎など「アカデミックスキル」を学びます。教員によって扱うテーマが異なり、刑法や民法など、学生が関心ある分野を選ぶことができるのが特長です。



行政や企業と連携した学びで、“生きた知識”として法律を修得

黒田 侑希音 法律学科 3年次（岡山県立倉敷青陵高等学校出身）

2年次からスタートするゼミナールは、専門的な学びを深められるのが魅力です。私は元京都府知事の山田啓二教授のゼミナールに所属し、木津川市に対して、感情を見える化する「感情マップ」を活用した街の活性化策を提案しました。現在はアプリを開発する企業と連携し、施策の実現に向けて活動中です。実践的な学びを通じて磨いた行政法の知識や論理的思考力を生かし、将来は地元で街の活性化に貢献したいです。

法政策学科

詳細はWebへ



DEPARTMENT OF INTERDISCIPLINARY STUDIES IN LAW AND POLICY

具体的な政策実践力につながる学び

安心・安全な社会を築くため、法学や政策学を学びます。学外でのリサーチに取り組むなど現場で学ぶ科目も充実しており、政策提言など新たなルールをうみだす力を養います。

POINT 学科のポイント

Point 01 充実したリサーチ系科目で専門の学びを深める

地域公共コース

国や地方の公共性を深く理解し、将来さまざまな分野で社会を法的・政策的に支える人材を育成します。国家公務員、地方公務員、NPO職員、地域住民として、法を踏まえた政策を立案する能力の修得を目指します。



実務家教員やゲスト講師による充実した実践教育

- 地方自治未来論（京都府知事、高知県知事、京都市長、八幡市長など）
- 地方自治論（京都府総合政策環境部、京都府商工労働観光部など）
- 政策分析論（企業コンサルタント、地域活性化事業ディレクターなど）

など



総合政策リサーチ

この授業では、社会や地域の課題をテーマに、実際に現場へ出て調査を行います。インタビューや観察でリアルな声を集め、データや先行研究を分析。その成果をもとに、実現可能な政策提案をまとめます。机上の学びにとどまらず、行動し、考え、提案する力を養う実践型授業です。

Point 02 特色ある科目

地方自治論

地方自治の成り立ちや仕組み、課題について、実例を挙げて体系的に学修。実務担当者からリアルな課題と政策の状況を学びます。

地域ガバナンス論

地域運営に必要な大きな視点と地域視点を得るため、多様なアクターの協力関係に注目し、より良い地域ガバナンスの実現を検討します。

公共政策と市民社会

公共性の本質を思想史から現代政策まで横断的に探究。国家・市場を超えた「市民社会」の可能性を歴史的・世界的に考察します。

国際政治学

第一次世界大戦以降の歴史、外交交渉のパターンなどについて学び、現代の国際政治について理解を深めます。

Pick Up

法政策基礎リサーチ

法政策学科1年次生のみが受講できる科目です。政策に関する基礎知識を理解するとともに、グループ学習を通じて調査・分析力、対策案をデザインする力、コミュニケーション能力を修得します。授業の総まとめとして、ポスターセッション形式でクラス合同発表会を実施します。



楽しんで挑戦できる環境が成長につながった

高原 千瑳 法政策学科 3年次（兵庫県立播磨福崎高等学校出身）

「法政策基礎リサーチ」では、課題の発見、解決策の提示、影響予測に取り組めます。政策立案の難しさを痛感する一方で、意見を人に伝え、説得する技術が鍛えられたと感じています。授業内の合同発表では、鎌倉のオーバーツーリズムによるゴミのポイ捨て問題の解決に向けた提案を行いました。解決策だけでなく副作用の予測・対策についても検討し、多角的な視点での思考力が養われるとともに、自信にもつながりました。

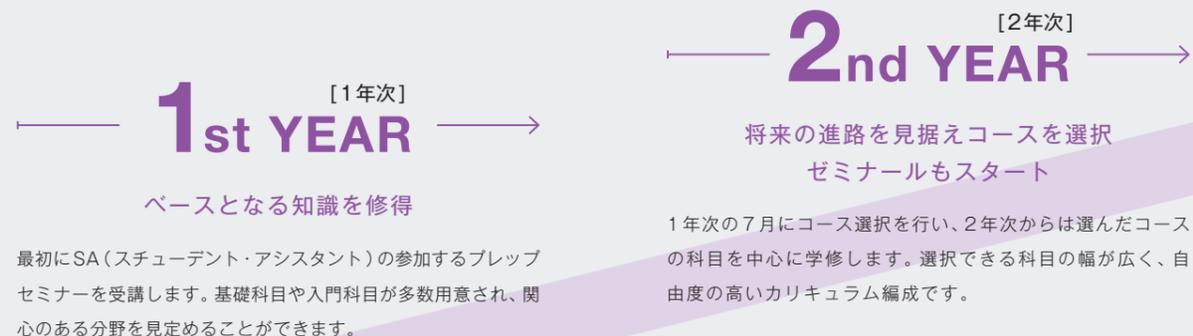
4-YEAR STUDIES



詳細はWebへ

4年間の流れ しっかりと基礎を固めた上で、各自の学びをさらに深化

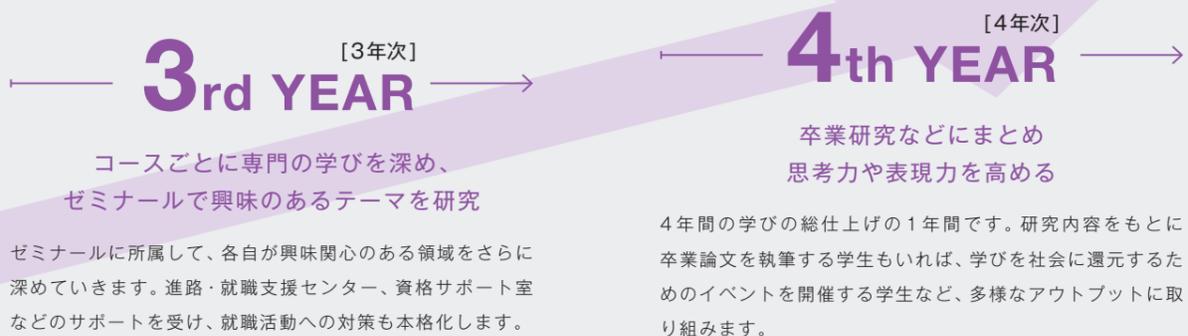
法学部での学びをスムーズに始められるよう、基礎から丁寧に学んでいける環境を整えています。特定の進路を想定した2学科4コースがありますが、選択できる科目の幅はかなり広く、興味や目標に合わせて学びを深められる環境です。



最初にSA(スチューデント・アシスタント)の参加するブレップセミナーを受講します。基礎科目や入門科目が多数用意され、関心のある分野を見定めることができます。

1年次の7月にコース選択を行い、2年次からは選んだコースの科目を中心に学修します。選択できる科目の幅が広く、自由度の高いカリキュラム編成です。

- 想定される進路**
- 大学院進学(法科大学院など)
 - 国家公務員総合職
 - 国家公務員一般職
 - 都道府県庁、市役所
 - 司法書士、行政書士
 - 警察官、消防官
 - 自衛官、海上保安官
 - 刑務官、法務教官
 - NPO職員、社会科教員
 - 民間企業(金融・保険業、IT業など)
 - 製造業、インフラ業、人材業、マスコミ業、警備業、



大学院進学(早期卒業)

入学当初から大学院進学を検討していましたが、就職が2年遅れてしまうことが不安でした。しかし3年次の時に早期卒業の存在を知り、迷わず応募しました。深く法学を学んで大学院(博士前期課程)の修了を目指す上、気持ちにも余裕ができて、税理士法人や企業を含めてより広い視野で将来を考えています。

尾崎 誉哉 大学院 法学研究科 法学専攻 博士前期課程 1年次 (奈良県立法隆寺国際高等学校出身)

横断的に学ぶ	導入科目	法学を学ぶ上で必要な「考える」力の基礎を固めます。	●法律学入門 ●政治学入門 ●政策学入門 ●安心・安全学入門 ●憲法概論 ●刑法概論 ●民法概論	
	法律学科	<ul style="list-style-type: none"> 法律総合コース (主な履修科目) ●憲法 ●民法 ●刑法 ●行政法 ●労働法 ●社会保障法 ●国際法 ●地域ガバナンス論 ●社会学 など 企業・ビジネスコース (主な履修科目) NEW ●憲法 ●民法 ●商法 ●会社法 ●ビジネスとデジタル化 ●税法 ●労働法 ●社会保障法 ●国際取引法 ●ジェンダーと法 など 社会安全コース (主な履修科目) ●憲法 ●民法 ●刑法 ●警察学 ●サイバーセキュリティ政策 ●グローバルセキュリティ論 ●社会安全政策 ●犯罪心理学 ●被害者学 など 		
	法政策学科	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共コース (主な履修科目) ●憲法 ●民法 ●行政法 ●国際法 ●行政学 ●政治過程論 ●地方自治論 ●国際政治学 ●公共政策論 ●政策分析論 ●地域ガバナンス論 など 		
	ブレップセミナー	大学生生活と法律学・政治学・政策学の学修に慣れることを目的とした、法学部で本格的に学ぼうとする新入生のための少人数授業です。		
	法学入門セミナー(法律学科のみ)	1年次生が秋学期に受講する少人数制授業。2年次以降の専門的な	科目に取り組む土台づくりを目的に、さまざまなテーマをもとに、レポートの書き方やロジカルシンキングの基礎などを学びます。	
	2年次演習 A・B	研究に関する基礎的な知識・技能を学びながら、主体的に取り組む自主性を身に付けます。	3年次演習 A・B	演習活動を通して、専門知識や論理的思考力、課題発見・解決力、対話力を身に付けます。
	法政策基礎リサーチ(法政策学科のみ)	1年次生が秋学期に受講する少人数制授業。政策に関する基礎知識	4年次演習 A・B	2年次からの演習の成果をまとめ、学生生活の集大成である卒業研究に取り組めます。
	法律特進プログラム:リーガルライティング科目	法科大学院進学を目指す学生のために、論文答案	の理解と、グループ学修を通じて調査・分析力、対案をデザインする力を修得します。	
	公務特進プログラム:公務公共政策演習、数的処理、総合政策リサーチ	公務員志望者のために、	作成を通じて、正確な法的知識の修得と法的判断力、論理的な説明力を鍛えます。	
	NEW 共創型リーダーシッププログラム:法教育演習、アクション・リサーチ	SAとして下級生の学び	政策課題についての討論、データ分析、レポート作成を通じ、政策提言力を養成します。	
			をサポートしつつ、行政や企業、卒業生とも交流することで主体的な行動力を発揮します。	

※科目名は変更になる場合があります。

NEW 仲間と共に学び、未来を創る。共創型リーダーシッププログラム

主体性、協調性、リーダーシップという、社会が求める力を育む実践型プログラムです。SA(スチューデント・アシスタント)として下級生の学びをサポートし、京都府庁や地元企業での職業体験、活躍する卒業生との交流を通じて、主体的に行動する力を身に付けます。また、消費者契約やワークルールといった法学部での学びを学内外に発信することで、活躍の場を学外にも広げます。



法律特進プログラム

主に法科大学院に進学し、裁判官・検察官・弁護士を目指す人のためのプログラムです。「ライティング」(=「書くこと」)のトレーニングを通じて、講義で学んだ法律学の知識を実際に使えるレベルへと引き上げることを目的とします。担当教員が、プログラム生のパーソナル・トレーナーとなることで、法科大学院進学や司法試験合格を目指します。

<法科大学院合格実績(抜粋)>
大阪大学、京都大学、神戸大学、関西学院大学、関西大学、慶應義塾大学、同志社大学、南山大学、立命館大学 など

公務特進プログラム

国家公務員、地方公務員を本気で目指す学生を支援するプログラムです。問題発見力・分析力・企画力・コミュニケーション能力を身に付け、法律・政治・行政などの幅広い知識をもとに小論文を作成し、現代的なテーマについてグループディスカッションを行います。担当教員が、プログラム生の伴走型アドバイザーとなり、一人一人の目標達成をサポートします。

<公務員就職実績(抜粋)>
裁判所事務官、検察事務官、消費者庁、国税専門官、労働基準監督官、東京都、京都府、広島県、宮崎県、大阪市、京都市、福井市、高松市、京都市消防、警視庁、大阪府警等、海上自衛隊 など



詳細はWebへ



Topic :

社会安全学—実践的な学びで社会の安全・安心の実現を目指す

Outline :

私のゼミナールでは、女性安全対策チーム「Abelia（アベリア）」を結成し、京都府警本部生活安全企画課などと連携しながら、ちかん、盗撮、ストーカーなどの人身安全、性被害を抑制する啓発活動に参加しています。誰一人として被害者にも加害者にもさせないという使命感の下、さまざまな観点から活動を行っています。例えば、視聴覚障害のある方が知らないうちに性犯罪やハラスメントなどに巻き込まれているという報道を受けて、点字での防犯パンフレットを作成しました。人身安全、性犯罪対策などは周囲の協力が不可欠で、このため、被害に遭った際の相談窓口など公的支援情報の周知が必要です。これらを踏まえて学生は社会貢献の一翼を担っていることに誇りを持ち、このゼミナールでの経験を将来に生かしてほしいです。



Topic :

社会保障法・労働法の基礎研究—バランスの取れた問題解決能力を獲得する

Outline :

毎年扱うテーマはさまざまですが、社会保障法と労働法の両方の視点から、働き方改革やLGBTQ問題、こどもの貧困など、なるべくタイムリーな課題を取り上げるようにしています。ゼミナールの進め方は、まず文献を読み込んでしっかりと内容を理解し、必要があれば企業や行政の担当者などにお話を伺い、それを踏まえてグループで調査や議論を行って成果報告をします。学んだ内容をもとに、学生が主体的に啓発活動を行うこともあります。社会保障法と労働法は普段あまり意識することはありませんが、社会に出れば必ず関わってくる身近な問題を扱う分野です。労働者と経営者、貧困層と富裕層、弱者と強者、双方の価値観を理解した上でバランスの取れた解決法を見いだせるような、偏りのない思考のできる人材を育てる場になればと考えています。



浦中 千佳央 教授
専門分野：警察学、政治学

Profile :

三重県出身、大学進学を機に山梨県へ。その後フランスのトゥールーズ第1大学へ留学、学位(博士)を取得。フランス滞在15年の経験と人脈が強み。プライベートでは、保護猫シェルター内のカフェでボランティアに動いている。



高島 淳子 教授
専門分野：社会保障法、労働法

Profile :

大阪府出身。大学進学を機に京都へ。街の賑わいと自然が共存する京都暮らしがお気に入り。ブロードウェイで観た「レ・ミゼラブル」に魅了され、舞台鑑賞が趣味に。研究では、現行制度の課題を分析し、どのような働き方でも安心できる社会保障制度の在り方を検討している。

SEMINAR

ゼミナール紹介

Topic :

会社法事例演習—会社法を“読む・知る”から“考え・使う”へ

Outline :

このゼミナールでは、「株式の譲渡」や「取締役の権利・義務」など会社法に関わる具体的な事例問題に取り組みます。出題される問題は法律的にさまざまな解釈が可能で、答えは1つではありません。重要なのは、どのように法律を読み解き、いかに結論にたどり着くかというプロセスです。学生たちは6人ほどのグループに分かれ、ディスカッションを重ねて1つの結論を導き出します。そして各グループがそれぞれの結論を発表し、意見交換をしながらさらに議論を深めていきます。こうした能動的なグループワークにより、論理的思考力やコミュニケーション能力、協調性や発信力が身に付きます。また、会社法の事例問題を通じて実社会の課題を考える中で、「正義とは何か」、「社会はどうあるべきか」、「生きるとはどういうことか」といった正解のない問いに対しても、自分なりの答えを探し出す力が養われます。



Topic :

環境問題と公共政策—事例研究を通して解決策を考える

Outline :

教室を飛び出し、社会問題の現場で「問い」を見つけるのが、焦ゼミナールの特長です。学生自らが「食品ロス」や「グリーンインフラ」といった身近な課題を発見し、現地調査や関係者への聞き取りを経て政策を立案します。大学コンソーシアム京都主催の「政策研究交流大会」では、論理的な鋭い視点が評価され、2年連続でベスト質問賞を受賞。ゼミナール活動でも常に活発な議論が繰り広げられています。その背景には、このゼミナールのモットーである「よく遊び、しっかり学ぶ」メリハリがあります。ゼミナール合宿や学園祭、フードドライブの運営で培った強固なチームワークが、遠慮のない議論の土台となるのです。特にフードドライブは、政策が社会にどう影響を与えるかを肌で感じる貴重な機会です。失敗をおそれずにさまざまな事にチャレンジして、知識を行動に変える「社会人基礎力」を身に付けてほしいと思います。



佐藤 誠 教授
専門分野：会社法(コーポレートガバナンス)

Profile :

大分県別府市出身。九州大学・大学院で法学について学び、2000年4月から京都産業大学で教鞭を執る。現在は、結合企業を中心とするガバナンス、コンプライアンス、ファイナンスの研究を行っている。



焦 従勉 教授
専門分野：公共政策学、地域ガバナンス、環境ガバナンス

Profile :

大学卒業後に来日。商社勤務を経て大学院で学び、研究者の道へ。持続可能な社会を実現するために必要な理論研究とフィールドワークに取り組んでいる。趣味はマラソン。年に1、2回は大会にも出場している。

SEMINAR & FACULTY



ゼミナール&教員DATA 2026年3月現在

法学分野

働く人を守る法律を学ぼう

岩永 昌晃 教授
専門分野：労働法など

国際法で戦争と平和を考察

岩本 誠吾 教授
専門分野：国際法など

身近な疑問を法律で解決！

上野 達也 教授
専門分野：民法など

行政のしくみと法律を探る

太田 照美 教授
専門分野：行政法など

具体的事例で学ぶ

刑法理論の世界
岡本 昌子 教授
専門分野：刑法など

会社をめぐる事件を深掘り

木俣 由美 教授
専門分野：商法、会社法など

税金をめぐる知恵と法律

木村 吉孝 准教授
専門分野：租税法など

権利を守る裁判のしくみ

草鹿 晋一 教授
専門分野：民事訴訟法、ADR、司法制度など

RPGで学ぶ争いの解決法

久保 秀雄 教授
専門分野：法社会学、犯罪社会学など

法律の歴史から今を読み解く

久禮 且雄 教授
専門分野：法制史など

世界の事件から

ビジネスと法を学ぶ
佐藤 育己 准教授
専門分野：国際私法など

いろんな視点から会社を探究！

佐藤 誠 教授
専門分野：会社法（コーポレートガバナンス）など

現在の法制度の成り立ちを学ぶ

須賀 博志 教授
専門分野：日本近代法史、憲法など

契約トラブルを法律で解決！

高橋 英弘 教授
専門分野：民法、医事法、消費者法など

若者の働き方と法律を考える

高島 淳子 教授
専門分野：社会保障法、労働法など

社会の問題を刑罰で考察！

田中 駿登 助教
専門分野：犯罪学、刑事政策、刑事学など

国際裁判を体験してみよう！

戸田 五郎 教授
専門分野：国際法など

検察・弁護の立場で

刑法を議論する
中村 邦義 教授
専門分野：刑法など

社会の問題を憲法から考える

中山 茂樹 教授
専門分野：憲法など

模擬裁判で刑事訴訟を体験

成田 秀樹 教授
専門分野：刑事訴訟法など

税金を通じて

社会や取引を学ぶ
野一色 直人 教授
専門分野：租税法など

消費者目線で契約法を学ぶ

坂東 俊矢 教授
専門分野：民法、消費者法など

裁判を見て民事訴訟を学ぼう

日渡 紀夫 教授
専門分野：民事手続法など

法と社会の関係を探る旅

朴 艶紅 准教授
専門分野：法社会学など

有罪・無罪を考える力を養う

増井 敦 准教授
専門分野：刑事法など

リスクに備える保険の知識

吉澤 卓哉 教授
専門分野：商法、保険法、国際私法など

国家賠償から社会を見直す

若狭 愛子 准教授
専門分野：行政法など

政治学分野

比較で見える社会のしくみ

芦立 秀朗 教授
専門分野：行政学など

哲学で政治を深く考える

有吉 弘樹 准教授
専門分野：政治学など

歴史から政治を分析する

植村 和秀 教授
専門分野：政治学など

国際政治と日本外交を探る

滝田 豪 教授
専門分野：政治学、中国政治など

日本政治の現在を読み解く

中井 歩 教授
専門分野：政治学、政治過程論など

地域と連携して社会を変える

中谷 真憲 教授
専門分野：政治学、公共政策など

政策学分野

被害者支援を現場で学ぼう

新 恵里 准教授
専門分野：被害者学など

社会の安全を守る方法とは？

浦中 千佳央 教授
専門分野：警察学、政治学など

安全な社会をつくる政策研究

岡部 正勝 教授
専門分野：比較警察学、行政法など

実践的に公共政策をつくる

北川 雅敏 教授
専門分野：地方自治、自治体経営、公共政策（地域産業政策）など

地方自治体の魅力や政策を比較調査！

喜多見 富太郎 教授
専門分野：地方自治論、都市行政学など

自治体の政策を調査しよう

小西 敦 教授
専門分野：地方自治など

事例で環境問題と解決策を考える

焦 從勉 教授
専門分野：公共政策学、地域ガバナンス、環境ガバナンスなど

刑務所・少年院の社会的役割を考える

服部 達也 教授
専門分野：矯正社会学、少年法など

地域活性化を現場で提案！

山田 啓二 教授
専門分野：地域公共論など

[2026年4月開講予定]

AI・SNS時代の法を考える

來住南 桃 助教
専門分野：新領域法學など



GRADUATE'S INTERVIEW

卒業生紹介

・ INTERVIEW ・

東海旅客鉄道株式会社（JR東海）勤務

安藤 沙季 さん

法律学科 2020年卒業

Q. 現在のお仕事を選んだきっかけを教えてください。

「人々の人生をつないでいきたい」という気持ちを軸に据え、旅行業界に絞って就職活動をしていました。その中で企業として安定していることと、普通の会社では携われない乗務員、運転士などのキャリアが積める点に魅力を感じました。また、日本の大動脈を支える新幹線への憧れもありました。現在は育児休業中ですが、長いキャリアプランを考えて、この仕事を選択しました。

Q. 大学時代の学びや活動で今のお仕事に生きていることは何ですか？

「会社法」のゼミナールでの企業を法的に理解する学びは就職先を選ぶ一助になりました。また、法学部で培ったルールを生かして柔軟に問題解決に取り組むリーガルマインドと、他学部の学生との交流で身に付けた対応力は、お客様への安全で快適なサービスの提供に役立っています。

学生時代の思い出



就職アドバイザーとして、他学部の学生とともに就職活動イベントの運営をしていました。就職活動を始める学生が前向きに取り組んでいけるように、楽しい雰囲気盛り上げることを心がけました。

卒業生

リーガルマインドと
多様な考え方への理解が、
運輸業務を支える



詳細はWebへ

VOICE

公務員志望者の声

消費者庁 内定

ゼミナールで民法を学んだことが就職活動の軸になった

竹村 奈菜 法律学科 4年次（滋賀県立草津高等学校出身）

「民法概論」を履修して生活に根差した法律への関心が芽生え、民法ゼミナールに所属しました。消費者教育に関心を持ったのは、学びの中で消費者には情報量や事業者との交渉力に格差などの問題があり、消費者教育の積み重ねが必要だと考えたからです。「消費者問題に携わりたい」という思いを軸に就職活動に取り組み、消費者庁から内定をいただきました。

CAREERS

キャリア
サポート

文部科学省に最優秀賞と認められたキャリア実習をはじめ、入学直後から卒業まで多彩なキャリア形成支援プログラムを展開。低年次から自分のキャリアを描く機会を設け、社会で生き抜く力を育てます。就職活動では、約40人の専任スタッフが年間約12,000回の個別面談を実施するなど、きめ細かにサポート。こうして培われる資質や能力は、卒業生が就職した企業や社会からも高く評価されています。

就職率〈法学部〉

98.5%

2024年度実績

資格

資格受験専門学校による講義を、特別価格で受講できます。講師は実績のある専門学校の受験対策スペシャリスト。資格サポート室とタッグを組み、資格・講座選びから合格まで徹底的にサポートします。

取得可能な教員免許状

- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 高等学校教諭一種免許状（公民）

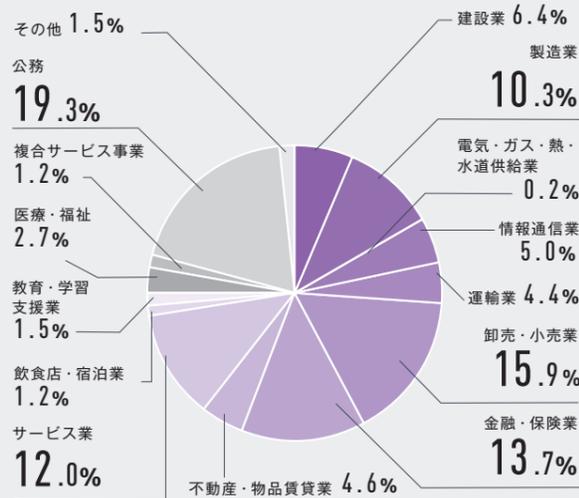
取得を推奨している資格

- 宅地建物取引士 ■ 司法書士 ■ 行政書士 ■ 社会保険労務士
- 弁理士 ■ 税理士 ■ 不動産鑑定士 ■ 弁護士

大学院進学（法科大学院、法学研究科など）

- 関西学院大学 ■ 慶應義塾大学 ■ 同志社大学 ■ 立命館大学 など

就職先 業種割合



2024年度実績

※就職先業種割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

就職先一例（50音順）

- | | | | | |
|--|--|---|--|--|
| 岡三証券
オムロン
キュービー
京都銀行
サイバーエージェント
JR東海
JR西日本 | SUBARU
住友林業
大和ハウス工業
東芝
TOTO
ニトリホールディングス
日本製鉄 | 日本生命保険相互会社
日本赤十字社
日本年金機構
日本郵便
パナソニック
富士ソフト
三井住友海上火災保険 | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
村田製作所
明治安田生命保険相互会社
ヤマト運輸
有限責任あずさ監査法人
国家公務員（厚生労働省）
国家公務員（財務省税関） | 国家公務員（法務省）
京都府警察本部
警視庁
大阪市役所
京都市役所
京都府庁
東京都庁 |
|--|--|---|--|--|

VOICE

公務員志望者の声



石川県庁 内定

実践的な学びを生かして地元の幸福度向上に貢献したい

嶽 一平 法政策学科 4年次（石川県立金沢錦丘高等学校出身）

ゼミナールで京都府京田辺市などの地域活性化・地域振興に取り組んだ経験を、地元のために生かしたいと考え、石川県庁で働きたいという気持ちが定まりました。早い時期に受けた公務員試験の結果に満足せず、勉強に打ち込んだことが内定につながったのだと思います。異なる価値観を尊重して視野を広げた大学時代の経験を生かし、県民の多様な意見を県政に反映していきたいと考えています。

専門領域の学びを通して
自分の進むべき道が見えた

内定者

大王製紙株式会社 内定

杉山 公康

法律学科 4年次（大阪府立香里丘高等学校出身）

Q. 民法を専門的に学んだそうですね。

入学時は公務員志望でしたが、法学部で民法に関心を持って学んだことで、一般企業での仕事に興味を持つようになりました。契約や取引の仕組みについて知り、そうした場面での法の役割を深く理解することで、企業の信頼構築や法的リスク管理の重要性を実感しました。

Q. 専門領域の学びはこの先のキャリアにどのように生かされるとお考えですか？

3年次で国際模擬裁判のゼミナールに所属し、周りの意見を積極的に取り入れ、多角的な視点から事象を突き詰めていく姿勢を学ぶことができました。物事を多角的に捉え、論理的に考える姿勢は就職活動でも役に立ち、今後のキャリアでもさまざまな場面で生かせると考えています。

学生時代の思い出



2年次に、法学のオーソリティーが研究発表をされる「法学会」のお手伝いをさせていただきました。自分たちが学んでいるのは法学のほんの一部だけで、その深さを知る良い経験になりました。

INTERVIEW

株式会社島津製作所 内定

朝日 千尋

法政策学科 4年次（大阪府立いちりつ高等学校出身）

Q. 就職活動の軸は？

ゼミナールでは、グループでのフィールドリサーチや各自が考えて話し合う機会がたくさんあり、リーダーよりもむしろメンバーをサポートする役割が自分に合っていると確信しました。こうした経験から、営業職や技術職を支え、チームの成果に貢献できる職種を就職活動の軸にしました。

Q. 専門領域の学びはビジネスの場面でどのように生かされるとお考えですか？

政策を立案する際には、解決策を示すだけでなく、周囲のさまざまな状況を見据え、関係者を説得する力が求められます。卒業後は、政策立案・提案の学びを生かし、業務を円滑に進め、成果を出せるよう、社内外の業務的的確なサポートを通して、チームに貢献したいと考えています。

学生時代の思い出



地方創生や政策のゼミナールに所属し、へしこや清酒など京丹後市の食文化を、国内はもとより国外にも広めるための活動に取り組みました。地元の店舗でリサーチを行うなど、貴重な経験ができました。

内定者

グループワークを経験して
自分の適性を確信できた



詳細はWebへ